

(平成30年度 JAM・ビクター高齢者・退職者の会)

JVC シニアクラブ

(文責・総会書記:西郷 治男)

■日時 : 2017.10.5(金) 12:00~13:00

■場所 : パセラリゾーツ「BENOA 横浜店」(横浜ハマボール・イアス7階/横浜・西口)

1. 開会 [12:00]

- ◆はじめに司会の高石副会長より1年間の物故者5名が紹介され、黙祷が行われた。
<敬称略> 臼杵謙介(横浜市、2017年1月、82才) 鶴田允利(坂東市、2017年4月、80才) 本橋英雄(横浜市、2017年5月、73才) 木村正一(座間市、2017年9月、79才) 佐塚浩文(横浜市、2017年9月、75才)
- ◆開会挨拶に続いて、議長選出の事務局案(榎本享二氏)が提案され、承認された。

2. 総会役員選出

- ◆議長の榎本氏が登壇して挨拶の後、書記に西郷が任命された。

3. 会長挨拶 [12:05]

- ◆菅沼会長より挨拶。
 - ・JVC シニアクラブは満15年を経過し、これまで皆様のご支援ご協力をいただいて一定の成果を上げてきた。今年度は満15年にふさわしい活動を進めていきたいと考えている。
 - ・ご承知の通り、我々を取り巻く環境や社会情勢は目まぐるしく変化してきており、今後予定通りの行事が出来るかどうか不安になる程、思ってもみなかったことが起こる昨今である。先日の衆議院解散・総選挙も然り、JAMシニアクラブ本部も政治情勢の急激な動きにより正式な対応は出されておらず、当シニアクラブとしても議論はしていない。しかしながら、我々高齢者の生活を左右することには間違いない状況にある。
 - ・選挙の対応としては、新聞・TVの報道をもとにJAMシニアクラブや高退連(高齢者退職者連合)の指示によって、皆さん自身の判断で自主的に投票していただくことになる。
 - ・本日、開会前の黙祷でお分かりのように、この一年間で5名の方が亡くなられた。現在では80歳と言ってもまだまだ若く、5名の方々はまだ早いのだと思われる人が目立った。
 - ・私自身も最近では体力が低下してきており、道路を歩くにも負担に感じる事が多くなった。いつも話しているように、我々にとっては健康寿命が大切であって、生きている以上は健康でなくては意味がない。皆さん、日頃から健康に留意して元気で頑張りましょう。

4. 来賓挨拶 [12:15]

- ◆JVCケンウッド労組・大川委員長より挨拶。
 - ・昨年は上部団体の日程で都合がつかず失礼したが、まずは第16回総会を心より祝する。
 - ・2011年10月、JVCケンウッドとなって以降、ちょうど6年が経過した。この一年間の動きでは、VDSでやってきたカードプリンター事業は川崎の会社(兼松)に譲渡され、旧特機部門はJVCケンウッド公共産業システムという別会社となり、旧VSのエンジニアリング部門も統合され完全子会社として昨年4月に発足するなど、社内の様子も大分変わってきた。
 - ・一方、昨年からはスタートした新たな経営体制(辻社長)の下で、事業としては何とか軌道に乗りつつあり、会社の中も少しずつ明るくなってきた。
 - ・先ほど菅沼会長のお話にもあったように、今回の選挙対応では現段階でJAM本部から明確な指示はない。皆様選挙区では比例区も含め、個別に判断していただくことになる。
 - ・最近では寒暖の差が激しく健康には十分留意されますと共に、本総会の盛会を祈念する。

5. 報告 [12:25]

◆田代事務局長より、(1)(2)一括で報告。

(1)平成 29 年度活動報告

＜議案書 1～3 ページ参照＞

- ・本会場は充実したビジュアル設備で多数のスクリーンに活動内容をスライドで流しており、それで報告に代えたい。※総会案内と共に「29 年度活動記録(A3カラー版)」を配布済。
- ・昨年の主な行事は老舗企業勉強会、国立演芸場観劇、日本橋老舗巡り、崎陽軒見学など実施した。特に 2 月国立演芸場は 44 名、6 月崎陽軒は 31 名と多数の参加があった。
- ・①会員数推移;平成 26 年 249 名をピークに徐々に減少し、29 年度は 234 名となった。
- ・②行事参加者数;29 年度は本部 3 回、支部 7 回の行事を実施、参加延人数は 271 名と前年より若干増加したが、参加率は 47%で前年(46%)とほぼ同じ。問題は残る 53%の方がどの行事にも参加してもらえてないこと。是非多くの人に声を掛けて勧誘して欲しい。
- ・③平均年齢;今年 10 月現在で 74 才。平均寿命と健康寿命の差(議案書の表紙参照;男 10 年、女 13 年)をよく認識して、これからも皆でいつまでも元気に活動していきたい。

(2)平成 29 年度会計収支決算報告

＜議案書 4 ページ参照＞

- ・収入合計は会費と労組助成費及び前年繰越金で 127 万円。支出合計は 99 万円(計画比 86%)で、行事費の総会と幹事会はほぼ計画通り。活動費は支部活動補助が計画未達、事務管理費、通信費はほぼ計画通りで、収支残(繰越金)は 28 万円。(前年ほぼ同額)

(3)平成 29 年度会計監査報告

＜議案書 5 ページ参照＞

- ・会計監査の飯田氏より「7/31 現在の財務諸表について厳正に審査した結果、会計処理はすべて適正であることを確認した」と報告された。～ (1)(2)(3)一括し、拍手で承認。
- ※監査当日(9/11)、会計監査・鎌田氏は欠席、飯田氏ひとりで実施したとの報告あり。

6. 議案 [12:40]

◆田代事務局長より、(1)(2)一括で提案。

(1)平成 30 年度活動方針に関する件

＜議案書 6～8 ページ参照＞

- ・取り巻く情勢認識 ～①世界の変遷;トランプ大統領就任以来、世界からの米国孤立化、懸念される米朝の対立、イスラム国(IS)の分散と新たな脅威、グローバル化と格差の顕在
- ②国内の状況; 突然解散・民進党分裂・野党連合の動き、社会福祉や財政健全化を目指す政権交代への期待、経済環境向上の実感乏しい、気象・災害の備えなど課題増大
- ③私たち; 健脚寿命(歩くことが出来る)が“人とのつながり”の元、心身共に健康に留意
- ④JVC シニアクラブ活動方針 ～①フラット(フラットな組織) ②オープン(分かりやすい活動) ③自主(意義ある活動) ④絆・連帯(緩やかな連帯) ⑤参画(上部団体と連携)

(2)平成 30 年度会計収支予算に関する件

＜議案書 9 ページ参照＞

- ・収入は会員減で前年微減の 124 万円。支出は行事費は微減、活動費も支部活動補助を重点としつつ全体で微減、一方で事務管理費、通信費の若干増で支出額は前年比 11%増、予備費を半減(14 万円)し支出合計は前年比 98%。～ (1)(2)一括し、拍手で承認。

(3)平成 30 年度役員臨時改選の件

＜議案書 10 ページ参照＞

- ・田代事務局長より提案。

現幹事・大高光蔵氏が体調不良により退任 → 新幹事・浅見憲一氏 ～ 拍手で承認。

7. 閉会 [13:05] 議長降壇、書記解任。閉会の後、懇親会前に全員記念撮影が行われた。

■交流懇親会 [13:15～15:15] (同一場所で開催)

- ・テーブル毎に和やかに歓談。恒例の「ビンゴゲーム」の後、「番号別ジャンケン大会」の結果、各組勝ち残った 10 名に図書券、最後の豪華賞品 2 本は、〇〇〇〇氏(神奈川)に「ディナーペア券」、飯田耕治郎氏(神奈川)に「リゾートホテルペア宿泊券」が贈呈された。 以上